

上田卸団地だより

編集・発行 上田卸商業協同組合 〒386-0041 長野県上田市問屋町510-2 TEL 0268-22-6649 (代) FAX 0268-22-6714

URL : http://www.ueda-oroshi.or.jp/ E-mail : info@ueda-oroshi.or.jp

長野県卸商業団地 厚生年金基金のご報告

理事長 丸山 正一

先週九月二十日に年金基金の代議員会が松本市で開催されました。皆様に、今春以来色々ご心配とご迷惑をおかけしてきました。A-I-J投資顧問詐欺事件の被害内容、二十三年度の決算内容、不足金発生に伴う今後の運営見通しなどについて、中間では随時ご報告してまいりましたが、代議員会での内容に基づき、以下にご報告申し上げます。

24年3月末現在の不足金は12億8300万円に達しております。時価評価決算では不足金は19億円になります。※23年度財政決算の概要は別表の通り(数理的評価による)。このような結果になりました主な原因は、A-I-Jによる巨額資産の消失による被害であります。

すでに新聞報道などをご存知のことも多いと思いますが、A-I-J投資顧問に関する経過並びに今後の対応を次に記します。

A-I-Jとの取引経過

- ①平成20年7月 3億円の導入を決定。
- ②平成21年6月 2億円の追加購入決定。
- ③平成22年6月 3億円の購入を決定。
- ④平成23年4月

貸借対照表(平成23年3月31日)

資産の部		負債の部	
純資産	5,626	数理債務	541
資産評価 調整額	251	最低責任 準備金	5,263
		別途積立	73
合計	5,877		5,877

貸借対照表(平成24年3月31日)

資産の部		負債の部	
純資産	4,078	数理債務	583
資産評価 調整額	618	最低責任 準備金	5,396
不足金	1,283		
合計	5,979		5,979

損益計算書(平成23年4月1日~24年3月31日)

経常損益				営業損益	
営業収益	486	営業費用	435	営業外損益	17
営業外収益	51	運用収益	19	営業利益	51
営業外費用	13	運用報酬	19	営業外費用	13
	1,584	業務委託費	13		1,584
	42	運用損失	1,584		42
	133	数理債務増加	42		133
	-1,723	最低責任 準備金増加	133		-1,723
特別損益	367	特別損失	-1,723		367
	367	特別利益	367		367
	73	資産評価 調整額増加	367		73
	-1,283	積立処分	73		-1,283
当期末不足金					

基金の現状(平成24年3月31日)

構成員と人数		主要科目	
加入企業数	85社	信託・保険	4,116
加入員数 男	1,802人	掛金等収入	454
加入員数 女	589人	政府負担金	32
加入員合計	2,391人	運用収益	17
		給付金	386
		運用報酬等	23
		運用損失	1,584
		不足金	1,356

委託先別時価

受託先		24.3月		24.8月	
三菱UFJ信託	1,833	-237	1,596		
三井アセット	1,844	-109	1,735		
第一生命	244	-4	240		
日本生命	194	1	195		
AIJ	2	0	2		
合計	4,117	-349	3,768		

右の経過を経て、A-I-Jによる基金の被害の総額は、24年3月31日現在で、15億8100万円になります。24年3月31日現在基金の購入合計額は15億円となっており、ファンドの購入合計額は15億円となっております。

この委員会で、今後の基金の運営方向を、本年中には答申する予定で、鋭意検討を重ねております。年々基金の今後について、長野県卸商業団地厚生年金基金は、厚生労働省の指導のもとに、平成2年に設立されました。目的は、県内卸団地に働く人々が将来、年金を受給する時に、事業主負担による上乗せ積立をすることに、求人、社員の定着、加えて大企業などの格差の是正に役立てようとの目的でした。当時は公定歩合も5%位で推移しており、運用の利益で年金の充実が図れるはずでした。国(厚生労働省)でも、現在のような低金利が長期に続くことは予想外であり、A-I-Jの問題が発生してからは、国会でも大

きく取り上げられてきました。厚生労働省では10年以上かけて制度廃止の方向で検討中です。基金制度の廃止が実施されるまで、当基金としての選択肢は、次の三通りです。

- ①維持
- ②縮小
- ③解散

三案について概略を説明しますと、

- ①案は掛け金の引き上げが不可欠です。現状から上げ幅は、0.3~2.1%の予想です。

この委員会で、今後の基金の運営方向を、本年中には答申する予定で、鋭意検討を重ねております。

②案は掛け金の引き上げが不可欠です。現状から上げ幅は、0.3~2.1%の予想です。

このように、資産が毀損され赤字が続く予想では、基金の存在についても危ぶまれます。

③案は掛け金の引き上げが不可欠です。現状から上げ幅は、0.3~2.1%の予想です。

（前ページより続き）

②案は給付の減額です。財政再建への寄与度は大きくありませんが、負担を薄く広く求める考え方はです。

また、特別掛金は全額事業主負担です。

③案は代行返上・解散です。これは国の政策変更により大きく影響を受けますし、相当多額の負担が予想されます。

以上の通り、三案いずれを採りましても、再建の道は非常に厳しいものです。

具体的な方向は決定しておりませんが、国の解散条件などの緩和方向などを勘案しながら、当面は給付減額も検討し、掛金引き上げもし、長期的には、解散に向うでしょう。

因みに現時点で、脱退をしようとする時、社員の年齢・男女比・給与水準などで大きく変わりますが、一人当たり一時金で90〜120万円程度を収めなくてはなりません。

今後とも、当年金基金の運営に対し、ご理解とご協力をお願い申し上げます。ご報告といたします。

平成24年9月28日現在

健保だより

長野県卸商業団地健康保険組合

監事 宮下信義

当健保組合は上田・長野・松本・諏訪・飯田の県下5卸団地で構成されており（平成24年現在被保険者数2789人、被扶養者数2981人）各

団地より議員が選出されています。卸健保は協会けんぽ（政管）と比較しても人間ドック、インフルエンザ等の補助、健康セミナーの開催、特定保健指導等きめ細かい活動がなされており、組合員のメリットがあると思えます。

しかしながら高齢化は進み、当健保の保険料加入の約46%が高齢者医療制度への納付金として拠出されている状況であり、保険料を上げざるを得ない状況となっております。その為「医療費の無駄をなくしましう！」をテーマに保険事業の健全化に向けて推進しています。「ジェネリック医薬品」の利用促進、健康キャンペーン「マ

イナス5%記録ダイエツト」の実施、医療費通知でのコスト意識、正しい受診の周知徹底、はしご受診・無駄な受診方法の改善等々、私達組合員も深い関心を持ち無駄をなくす努力が必要な事と思っています。

事業報告

7月～9月

消火訓練



上田市消防団第8分団の協力を得て実施

第5駐車場に50人を超える人が集まり、燃え上がる炎に向けて消火器で一気に消す訓練がありました。消火栓からの放水も体験しました。



大にぎわいの会場売場

訳あり市

入場者数 1,740人
昨年より来場者が500人も増え、会場内は押すな押すなの賑わい！
売り切れ続出で午後を訪れたお客様には満足な買い物が出来ずご迷惑をかけました。問屋の良さをもっと消費者に伝えたい訳あり市でした。



開場を待つお客様

ソフトボール大会（真田運動公園）

8チーム126人が参加
8:30プレイボール
優勝 新村チーム（連覇）
準優勝 ユダAチーム
3位 連合青果Bチーム
4位 ユダBチーム
MVP 永井幸夫様

外野が芝生の本格的なグラウンドで、熱戦が繰り広げられました。打撃が勝ったチームの結果となりました。



ボウリング大会（プラザボウル）

53名参加
優勝 安藤太一様（ユダ）
女性優勝 尾崎まさ子様（マルイチ産商）
ストライクが決まると大きな歓声上がり、チームメイトのハイタッチで盛り上がりました。
本年度から会場をプラザボウルに変更しました。



卸団地企業紹介

上田冷蔵
株式会社

上田市誌、近現代編『蚕都上田の栄光』の一説「上田町丸堀町に設立した上田冷蔵庫は、開業以来各地から蚕種の入庫依頼が多く冷蔵蚕種として好成績をあげました。」とあります。



弊社は、大正12年創業以来、天然氷を軽井沢、八ヶ岳山麓より仕入れ、この地域で栄華を極めた蚕業で地域の発展に寄与して参りました。昭和26年からは製氷を開始し、家庭用電気冷蔵庫が普及する昭和40年代までは食用に医療に輸送、保管に今とは違い大きな役割を担っていました。長野県内で最大28社を数えた工場も現在は4社となってしまいました。

冷凍、冷蔵倉庫は昭和48年卸団地へ進出して、平成3年に増築し、お客様から寄託される水産物、農産物、畜産品、加工食品をお預かりしています。原料は地域の工場で生産、加工されて出荷、製品は安定的に住民に供給、消費される為の入出庫を行っています。高速交通網の整備によって物流は日々変化していますが、

『地域社会の円滑な経済活動や地域住民の豊かな生活を支え、食品の鮮度、品質を保証し、食の安心、安全をお届けする。』という経営理念を忘れる事なく事業を展開して行きたいと思っております。

株式会社
丸二

当社は紙類と用途により派生した各種商品を長野県・群馬県で販売しています。紙は歴史の長い商品で、



我が国においても和紙は千年以上前の物が正倉院卸物として残っています。物を書き、後世に残すことはずっと続いています。紙の使い方は時代により様々で、当社でも長野県、群馬県が養蚕王国であった頃は養蚕農家で使う蚕座紙が何百トンも販売されました。現在は農家には果実の包装紙などに使っていただいています。印刷用紙、コピー用紙はずっと量的にはメインですが、近年は一寸かげりが出て来ました。パソコン、携帯電話等のハードウェア、インターネット等のソフトウェアの発展・普及により、ペーパーレスの社会に一步入ったかなという感じがします。ただそのせいでしょうか、若者の漢字の書取能力が低下しているとの報道があります。昔から勉強の基本は「読み書きそろばん」とされています。書籍、新聞を読み、手紙、メモを書く習慣を続けたいものです。また、只今の保存用のチップ、CDロムなどが後世で読み出しできるか、があります。本を読み、手紙を書くなどして、おおいに紙を使ってください。

有限会社
折真

弊社は、昭和5年市内田町にて折真商店を開業、折箱の製造販売を始めました。その後、昭和43年に法人化をし有限会社折真を設立、同年当卸団地に移転、営業を開始致しました。



当初の折箱製造・付属品販売から、現在は、ポリ袋・レジ袋・紙袋・プラスチック容器等食品に関する包装資材全般から、洗剤・厨房用品・衛生用品等、取扱い品目は多岐に渡っております。

スーパー・レストラン、食料品店等、及び結婚式場・葬祭センター等、地元上田を中心に東信地区、さらには、群馬県の一部にも販売活動を行っております。

旧来、生活様式・食生活の変化に伴って需要も拡大し、この業界も大きく成長を遂げてきました。しかし昨今の景気の低迷及び、環境問題を含め、その取り巻く状況は大きく変化してきております。

この様な大変厳しい環境下ではありますが、お客様の信頼とニーズの多様化に応えながら、これからも食生活をサポートする包装資材の総合卸として、流通業の一端を担っていきたくと思っております。

株式会社
丸山商店

当社は、昭和9年に上田市海野町で衣料品の卸売業として創業し、今年で78年目を迎えます。



上田卸商業協同組合の設立メンバーとして、昭和43年に現在地であります上田卸団地へ他企業に先駆けて進出いたしました。

また、昭和63年には長野営業所を開設し、平成5年に現在地の長野市広田に新築移転いたしました。

創業当初は、上田地域の小売店へのメリヤス肌着の卸売販売が主でしたが、近年では、販路を県内全域へ拡大し、学生衣料とファッション衣料及び病院衣料の卸売販売が中心になっております。

昨今は、卸売業だけでなく業界、業種、業態を問わず、大変厳しい経済環境下におかれておりますが、我社の使命は「こんな時代だからこそ、お客様にはファッションを通じて、明るく、楽しく、快適に生活していただく」とこと、心得ております。

今後もファッション文化の発信基地として、また、企業文化や学校文化の創造・醸成のお手伝いを、ニーズに合った幅広い商品をいち早くご提案することで、実現してまいりたいと思っております。

大感謝祭

期日 10月4日・5日
午前7:00～午後2:00

会場 卸会館ホール

抽選券1枚で1回
チャレンジできます

賞品 特等 八重原産
コシヒカリ
30Kg 8本

一等 豪華賞品

- ・松茸
- ・自転車
- ・IH炊飯器
- ・ガソリン金券

空クジなし!!

お好みの品から選択! 16本

二等～五等 お好みの商品

【不動産情報】 貸倉庫のご案内

住所 上田市秋和柿ノ木299-1
面積 104㎡ 間口7.3×奥行14.3
 (共同倉庫に併設)
賃貸料 93,400円(月額)
お問合せ先 組合 TEL22-6649

安全で安心な地域づくりと発展をめざして

秋和自治会 成田 守夫



上田卸団地の皆様には日頃自治会活動を通じ何かと御世話になり、誠にありがとうございます。先頃、丸山理事長様より、「自治会と卸団地との協調、地域の将来について、お書き頂きたい」と要請を受けました。良い機会を頂き感謝致します。

さて私共、秋和自治会は、虚空蔵山の頂上(坂城町との境界)から、上田バイパス、国道18号線、新幹線、しなの鉄道から千曲川の飯島堤防迄が自治会活動の範囲です。ご覧のように危険箇所が集積し、その上、清浄園(昭和34年から53年間)と上田終末処理場(昭和47年から40年間)は約2万坪が現在も稼働しています。更に、長野計器様はじめ企業群や多くの商業施設が点在し、快適な生活環境も整っています。その為か近年、居住人口は増加傾向にあり、恵まれている地域であります。

一方、農業は高齢化と後継者不足が深刻な現実問題となり、自治会内で集落営農による新組織の設立に向け活動を開始した所です。

秋和自主防災隊は約650世帯の皆様方が所属する主要な全団体を構成員として、組織し訓練も致しておりますが卸団地の皆様も9月3日に火災想定訓練を実施されました。自治会役員と第八分団一班の役員も参加させて頂きました。訓練を共にする事は意義あることと思います。訓練後の懇談会では、地域の危険箇所等の確認や、防災用具の着用で、集団を安全な場所に誘導する為の意見交換をさせて頂きました。卸団地の役員さん、事務局の皆様のご熱意に圧倒された一時でした。9月9日には早朝、秋和自治会内の上田バイパス北側の道路上で防災訓練を実施致しました。以上の現状から、今後も、卸団地、秋和自治会が、相互に協力し合い、共に安全で安心な地域を創ることが、今何より求められています。

更に将来を見据え、力を合せ、秋和地籍にしなの鉄道の中間駅建設を求めていくことは重要です。今後共、秋和自治会にご理解、ご協力を賜ります様よろしくお願い致します。

組合の動き(抜粋)

(会議などの出席状況)

- 7月1日 第4回訳あり市開催 出店20社 会館ホール
中央会上小・佐久合同正副支部長会
理事長(小諸)
- 5日 正副理事長会
- 6日 商工中金会役員会 理事長(千曲)
- 10日 ボウリング大会(ブラザボウル)53名
理事会 訳あり市実績報告他
- 13日 問屋町会 理事会・各委員会報告
- 19日 年金基金特別委員会 理事長(松本)
- 24日 年金基金資産運用委員会 高橋(松本)
- 24日 十日会(生ビール会・ささや)19名
- 27日 まちづくり協定特別委員会
50周年記念事業特別委員会
- 8月10日 正副理事長会
- 13日 16日 事務局夏季休暇
- 23日 事業委員会 大感謝祭の実施内容について
- 24日 理事会 不動産物件の賃貸借について
- 28日 ソフトボールキャプテン会議
- 9月3日 正副理事長会
- 3日 初期消火訓練50名・秋和自治会と懇談会(会館)
- 4日 厚生年金基金資産運用委員会(松本)
- 9日 ソフトボール大会(真田運動場)
8チーム126名
- 13日 理事会
借入金・役員研修・不動産情報について
問屋町会 理事会報告
- 13日 十日会 小宮山税理士「改正税法ポイント」
- 14日 50周年記念事業特別委員会
- 19日 厚生年金基金特別委員会 理事長・局長(松本)
- 20日 厚生年金基金代議員会 理事長他3名(松本)
- 20日 卸商業団地連絡協議会 研修会(松本)
- 25日 まちづくり協定特別委員会